Big Dipper News

Vol.4

2023.03

★東北七県電気工事組合連合会 青年部 齊藤会長より新春の挨拶

会長　齊藤 卓也

先ずはコロナ禍でありましたが多くの会員の皆さんに出会えたことに感謝します。
有難う御座いました。
そして、この任期中でもかけがえのない仲間ができた事を嬉しく思っております。
感謝感謝です。
今期を振り返りますと、時間があっという間に過ぎた感じでした。
そして、なんと言っても4年ぶりの会員大会を新潟県にて行わせて頂けた事とコロナ禍でありましたが感染症対策を実施し、会員大会後の濃厚接触者もなく終えたことは本当に嬉しく思っております。
新たな試みとして、東北ブロック初めての工版若手経営者意見交換もすることができました。
業界の両輪としてお互いの立場を考え、今後の業界を見据えた素晴らしい意見交換ができました。
この事業は継続事業として引き継ぎをしていきたいと思います。
人それぞれ考えはあるかもしれませんが、挫折を恐れないで挑戦することや困った時に頼りにできる友達や仲間が周りには沢山います。頼ったり頼られたりすることもいいことがあると思います。
今は変化が非常に大きい時代です。戸惑いや迷う場面もあるかもしれませんが、静観ではなく行動を！！
行動を優先をして新しい物を取り入れていきましょう。
皆さんのご成長と組合組織の発展を願っております。二年間大変お世話になりました。

ビッグディッパーとは？　ビッグディッパーの意味は北斗七星です。おおくま座の腰から尾を構成する星座です。東北電力㈱のサービスエリアで７つの県で構成されているところから、この愛称としました。

★青森県電気工事業工業組合青年部

残りの任期もわずかとなり、いよいよこれが最後のビッグディッパーとなりました。
目が大きい！声が大きい！器も大きくなりたい･･･ビッグディッパー編集担当、青森県工組の櫻庭です。
この2年間を振り返り、会長職拝命当初はどうなるものかと思いましたが、青森県の仲間達のお陰でここまで頑張ることが出来ました。青年部の仲間たちに心から感謝を伝えたいと思います。
そんな勢いしかない私を支えてくれた青森の仲間たちが、本当に嬉しいことを達成してくれました。

12月2日に東京は竹芝にて開催された第5回全国青年部会員大会、その第5回優良活動発表会「新化」部門にて、当青年部上十三(かみとうさん)支部の「廃電線有効活用事業」を発表させて頂きました。我々青森の応援は元より、東北の仲間達の声援も頂き、見事、銀賞を受賞する事が出来ました。青森県より全国青年部会員大会の優良活動発表へのエントリー自体が初めての事であり、その上で銀賞を受賞したことは何より嬉しかったです。そして、それは我々青森県の事業活動が全国に認めてもらえた事であると実感した瞬間でもありました。今後はこの事業を青森県全体に展開していけるよう活動すると共に、今後も全国へ発表出来るような事業を考えていきたいと思います。
長かったようで短かった2年間ですが、会長職を引き受けて本当に良かったと感じています。齊藤会長の元、東北7県の理事たちと共に活動出来たこと、東北ブロック会員大会の開催、九州ブロック会員大会への参加、そして全国青年部会員大会、本当に楽しく忘れらない思い出になりました。また、確実に自分の成長にもつながったと実感しています。
今後は一青年部員へ戻りますが、後任へはこの熱い魂を引き継ぎ、2年間の経験を活かし、これからの青年部がより良い方向へ進むよう、また素晴らしい青年部になるよう、自分がその道しるべになれるような存在になりたいと思っています。
出会うことが出来た全国の仲間たちへ本当に感謝いたします。ありがとうございました。

★岩手県電気工事業工業組合青年部

いよいよ自分の任期もあとわずかですが任期最後の後半戦まずは、9月末に開催いたしました県青年部30周年記念式典に始まり、20年以降の10年にスポットを当て開催させて頂きました、式典には県知事や東北ブロック会長を始め多くのご来賓の方々に参列頂き、今までこの青年部を築き上げてくれた多くの先輩方にも見守られる中、厳かに開催する事が出来ました。
また、祝賀会ではキャミソールブラザーズを迎え多くの方々と交流が出来、成功裏に終わる事が出来ました。
11月30日～1日に渡って開催された電気工事技能競技全国大会では4年前の大会に続き、一関支部の(株)平成電設の佐藤優磨選手が堂々の銅賞を手にし、この一年間努力してきた選手は元より応援して頂いた社長を始めとする企業の方々や、我々青年部の頑張りも実を結んだものと実感しております。
今後は2年後の大会に向けて、更に高みを目指して行ければと思います。
2日の会員大会では30周年記念事業でもあります陸前高田奇跡の一本松ライトアップ事業の事業成果を発表させて頂きました、

惜しくも入賞は逃しましたが副部長の堂々とした勇姿を見て、とても誇らしげに感じられたのは一番の成果だと実感しております！
年間を通して実施してきた業界アピール事業では、未来図書館が窓口となり中学生へ地域に住む身近な大人として我々が、電気工事の魅力を伝える事が出来、とても意味のある事業とする事が出来たと実感しております。
最後になりますが次へとしっかりバトンを渡し、駆け抜けてこの役目を全うしたいと思います。

ビッグディッパーとは？　ビッグディッパーの意味は北斗七星です。おおくま座の腰から尾を構成する星座です。東北電力㈱のサービスエリアで７つの県で構成されているところから、この愛称としました。

★宮城県電気工事工業組合青年部

２年の任期も残すところわずかとなりました。任期１年目はまだコロナ禍の影響もあり青年部活動も限られていましたが、２年目から徐々に青年部活動が出来たと思います。
県・支部での活動としては、継続しての工業高等学校への交流事業やイベントでの電飾装飾の設置協力などを実施いたしました。今後もこれらを継続事業とし、他県青年部の事業も参考にし、実施出来るよう検討中です。また、４年ぶりに開催することができた、新潟での東北ブロック青年部会員大会は非常に有意義な大会になったことは言うまでもありません。
県会長を引き受けたものの、はじめは正直言って右も左も分からない状態でした。
初めてのことだらけで大変なことも多々ありましたが、たくさんの青年部の皆様と知り合うことができ、とても楽しい時間を過ごすことが出来たのも、県会長の仕事をしたからこそだと思います。それにより自分自身、非常に成長する事ができました。
次年度は今日までで学んだことを活かし、しっかりと新青年部会長をサポートしていく所存です。また、青年部会員増強に向けて、もっと青年部を魅力的な会にしていきます。
さて、１月２８日、四国ブロック青年部会員大会に参加させていただきました。式典前には香川に行かなければなかなか体験することが出来ない、うどん打ちを経験させていただき、本場の味を堪能できました。意見交換会では、青年部会員の会社の悩みやそれに対する解決策など皆様の貴重なお話をお聞きすることができ、大変勉強になりました。四国青年部の皆様ありがとうございました。

★秋田県電気工事業工業組合青年部

秋田県工組青年部の会長を2021~2022年度1期を就任させていただきました。
支部の役職を歴任しないまま秋田県青年部会長という役職につかせていただき、はじめは戸惑いや不安などありましたがみなさんにフレンドリーに接して頂きました。
しかし、前年度から続くコロナ感染症による数々の事業の中止や延期を余儀なくされた悔しい思いの年ではありました。そんな中でも今までの自分には到底縁が無かったリモートによる会議等や、事業の開催、時代のニーズ合った展開、試行錯誤しながらの取り組みなどいろんな経験ができました。
東北ブロック会員大会においてはコロナ感染真っ只中での開催も、感染者０で無事に終えることができたというのも今では良い思い出です。また東北七県の理事方々のみならず全国の人と出会い、楽しみ、交流することができ、この2年間の経験がこれからの自分に良い糧になると思います。

今後の1番のテーマである青年部員の減少による青年部員の増強などまだまだ沢山の課題が残っています。悔いが残るところではありますが、これから東北七県中で人口が一番少ない秋田県だからこそ県全体が一丸となって取り組み、楽しみながら乗り切っていかなきゃならない課題だと思います。
最後に、まだまだ青年部員として在籍させていただいておりますので、次年度からはまた別の角度から次期会長をサポートし、全日や東北七県など様々な事業に参加し交流を深め、そこからまた次へ繋げて前進していきたいと思います。

★山形県電気工事業工業組合青年部

御礼と展望
まずは、山形県工組の代表として東北七県青年部に送り出していただきましたことを山形県工組の皆様に感謝申し上げます。
２０２１年６月コロナ禍の中でのスタートとなり、初めは勝手が分からず戸惑いが多い日々でしたが、齊藤会長の強すぎるリーダーシップと七県青年部評議員メンバー６人の愉快な仲間達、そして、事業を通して出会うことが出来ました全国の元気な青年部メンバーから、刺激と気づきを得て、大いに学ばせて頂いた２年間となりました。もっと早くに七県に来られたらと残念に思っています。私の残り少ない青年部会員としてのこれからの活動は、今年度成功裡に終えた東北ブロック会員大会新潟開催の良い流れを、そのまま２年後の山形開催に向けて山形県工組を東北七県、全日青年部との事業の流れを深くし、各支部の事業を通して青年部会員の事業充実、そして青年部会員の増員、充実を図っていきたいと考えていますので、これからもどうぞお付き合い頂けます様お願いいたします。

★新潟県電気工事業工業組合青年部

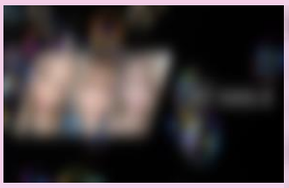
　こんにちは！新潟県電気工事工業組合青年部です。未だコロナ禍ではありますが、青年部らしく、今活動できることを積極的に実施しております！
　東北は寒波も厳しいですが、新潟県ではイルミネーション施工を行っている支部があります。長岡支部では期間限定のフォトスポットイルミネーション！まちなかイルミネーション【ハートナガオカ】です。こちらは、新潟県は長岡市のまちなかに、異なるデザインのイルミネーションが設置されており、写真や動画を収めながらまち歩きを楽しむ催しとなっています。
　また、先日開催されました第４回全日電工連第４回電気工事技能競技全国大会では、女性の部にて新潟県電気工事工業組合　瀧澤早季穂選手が見事金賞を受賞しました！一般の部、高校生の部も同じ東北ブロックの福島県の鹿山選手、猪腰選手がそれぞれ金賞であり、【強い東北】を全国にアピールすることができました！ご声援ありがとうございました！

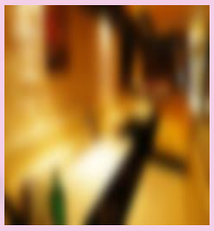
★福島県電気工事業工業組合青年部

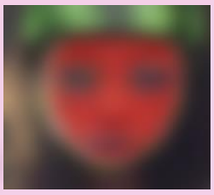
福島県電気工事工業組合青年部からは、令和5年10月26日に開催される第35回電気工事業全国大会の開催地、福島県福島市を紹介します。福島市は福島県中通り北部に位置し、福島県の県庁所在地であり中核市に指定されています。

今回で最後になる福島PRは***Nights-net　in 福島***の無料案内です。

まずは、キャバクラ「ラウンジバブル」。福島駅周辺で夜になると沢山の人で







詳細はココから♡

パスワードは各県評議員よりお聞きください♡

コロナ禍の2年間ではありましたが、全日電工連青年部協議会の皆様、全国の評議員会の皆様そして各県工組青年部の皆様との交流は私にとってかけがえのないものになりました。大変お世話になりありがとうございました。

★東北七県電気工事組合連合会 青年部 作田相談役

福島県電気工事工業組合
ホームページQRコード

大会PR動画を公開しておりますので、ぜひご覧ください♪

全国大会へ向けて

東北七県にて主管する第３５回電気工事業全国大会が、本年１０月２５日、２６日に福島市で開催されます。会場が日本中央競馬会（ＪＲＡ）福島競馬場、ふくしん夢の音楽堂（福島市音楽堂）で決定いたしました。電気工事業全国大会としての意義・目的を十分に達成し、全国各地から参加される皆様に地域の魅力を感じて頂ける大会となるよう、企画・準備を進めております。震災・原発事故から１２年が経過し、「風化」が叫ばれる一方で、新たな「風評」も叫ばれつつあります。この時期に“福島で開催する意義”を十分に考えながら充実した大会となるよう準備を進めてまいります。また、この大会を開催することで、「地域に残すレガシー」も併せて希望しております。「業界の未来を発信すること」「参加者に希望を得て頂くこと」「地域にレガシーを残していくこと」たくさんの目的をもって開催したいと考えております。多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げております。

★東北七県電気工事組合連合会 青年部

青森県電気工事業工業組合
青年部
会長　櫻庭　克英

秋田県電気工事工業組合
青年部
会長　佐藤　剛

岩手県電気工事業工業組合
青年部
部長　千葉　政芳

山形県電気工事工業組合
青年部
部長　佐竹　猛

宮城県電気工事工業組合
青年部
会長　紺野　厚

福島県電気工事工業組合
青年部
会長　吉田　誠

新潟県電気工事工業組合
青年部
会長　荻荘　陽一

東北七県電気工事組合
連合会
相談役　作田　謙太郎

東北七県電気工事組合
連合会
会長　齊藤　卓也

2年間大変お世話になりました♪今後も東北七県電気工事組合連合会 青年部をよろしくお願いいたします！！